

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会 2024 年度 基本方針

アカデミー委員会 委員長 酒井 正信

<p>委員会の未来</p>	<p>JC の理念、方向性を実践からではなく理論から理解することで、JC 活動、運動に対するモチベーション向上へとつながり、より明確な目的意識をもつことが期待されます。それによりメンバーが地域を牽引するリーダーとして自覚をもちながら活躍する秋田を創造します。</p>
<p>委員会設置背景</p>	<p>昨今のアカデミー委員会の活動制限によって現地で JC の理念について語り合う機会が減少し、JC の基本である成長と発展のサイクルが上手く回らなくなってきました。地域の解決すべき課題へ真摯に向かっていくには、バイタリティと親切心を兼ね備えた人財の養成と新たな出会いの機会を提供する必要があります。</p>
<p>委員会設置目的</p>	<p>各 LOM から集うメンバーへ JC の理念の理解、共感、浸透を図るとともに、地域の課題に向き合える変革の起点となるリーダーを養成することを目的とします。</p>
<p>委員会事業概要</p>	<p>1. 希望をもたらす変革の起点となるリーダー養成事業の企画・運営</p> <p>次代の LOM と地域を担うリーダーを養成するために、LOM の垣根をこえた発展と成長、出会いの機会の場を提供します。</p> <p>◆LOM との連携方法</p> <p>年間を通して全 6 回のアカデミー委員会と委員メンバー同士での小委員会を数回、秋田県内各地で行います。各アカデミー委員会を開催するうえで、アカデミー生のサポートも含め県内 8LOM と連絡、情報共有を密に行って進めます。</p> <p>◆パートナー</p> <p>1)日本 JC 各会議委員会(協力、連携) 2)日本 JC 公認プログラムトレーナー(協力) 3)行政、民間団体関係者(協力)</p> <p>2. 理念共感拡大グランドデザインの情報収集・活用・推進</p> <p>多くのメンバーに JC の理念を理解してもらうためアカデミー委員会で理念共感拡大グランドデザインについて学び、その後の共感、浸透のステージへ進みやすい基盤を醸成します。また Gian Pocket のさらなる発展に寄与するため、秋田ブロック内の議案をピックアップしアップロードを促します。そして会員拡大や人財育成に関する意見や質問などを日本 JC と連携し、各 LOM の情報を集め、理念浸透へ向けた行動を促します。</p> <p>◆LOM との連携方法</p> <p>アカデミー委員会で理念共感拡大グランドデザインについて学び、各 LOM から理念共感に対する情報を収集し、その情報をもとに浸透へ向けた行動を促します。</p> <p>◆パートナー</p> <p>1)日本 JC 各会議委員会(協力、連携) 2)日本 JC 理念共感プロモーター(協力)</p> <p>3. ブロック協議会で運用できる人財育成パッケージの更新及び支援</p> <p>JAYCEE を育成するために JCI セミナープログラムを活用し学びの場を提供します。講座終了後各 LOM へ JCI セミナープログラムのより良い活かし方を報告します。また新たに導入し</p>

	てほしいセミナーの聞き取りなどを行い、人財育成パッケージ更新に寄与します。
	◆LOMとの連携方法 年間のアカデミー委員会を通じてアカデミー生だけでなく各 LOM の人財育成に寄与するために、委員会の結果をまとめた資料を共有し、LOM でのプログラムの活用を促進します。
	◆パートナー 1)日本 JC 各会議委員会(協力、連携) 2)日本 JC 公認プログラムトレーナー(協力)